MONTHLY
連合埼玉
VOL.349　2021年3月1日

発　行　日本労働組合総連合会埼玉県連合会（連合埼玉）
発行人　平尾 幹雄
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19（あけぼのビル2F）
TEL048-834-2300（代表）毎月1日発行（購読料は会費に含む）
JTUC

記事内容
☆2021春季生活闘争開始宣言
☆2021春季生活闘争パワーアップセミナー開催
☆ミニマム賃金
☆第1回地協議長・事務局長会議開催/連合埼玉街宣車リニューアル
☆組合役員教育プログラム実務講座開催
☆年間研修計画/3.8国際女性デーとは
☆3月の行動日程/医療生協さいたまお知らせ
☆あけぼのビル

2021春季生活闘争スタート!

誰もが希望を持てる社会を実現!
「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで

2021春季生活闘争は、2月17日（水）より先行中核組合が要求書提出をおこない、本格的な労使交渉がスタートしました。連合埼玉は、先立つ2月9日（火）、予定していた「2021春季生活闘争・闘争開始宣言集会」を緊急事態宣言延長に伴い、集会を中止といたしました。つきましては、春季生活闘争開始にむけた近藤会長談話を掲載させていただきます。

2021年2月9日

2021春季生活闘争の開始にあたっての談話

日本労働組合総連合会埼玉県連合会
会長　近藤　嘉

現下の日本は、新型コロナウイルスの感染拡大並びに2度にわたる緊急事態宣言の発出など雇用に与える影響は非常に大きく、また、その対策は人の往来を抑制しているため、観光・飲食・鉄道・航空などの特定の産業が大きな打撃を受けている。また、社会機能を支え続けている医療・介護、インフラに関わる構築・保守、食料品など生活必需品の製造、小売・物流などの業種は、その必要性や重要性が再度認識されたが、そこで働く人の処遇は、必ずしも、その「働きの価値に見合った水準」とはなっていない現状なども明らかとなっている。

賃金は労働の対価であると同時に、経済や社会基盤を支える財源でもある。感染症対策と自律的成長を両立させていくには、雇用の維持・創出に取り組むとともに、GDPの6割を占める個人消費を維持・拡大させていくことが不可欠である。連合では、2021春季生活闘争をこれまで政労使で認識を一致させてきた賃金引上げの流れを継続させ、「底支え」と「格差是正」の取り組みを進めることで分配構造の転換につながりえる賃金引上げに取り組んでいく。そして、健全な労使関係の輪を隅々まで広げるとともに、働き方も含めた「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていかなければならない。

連合埼玉は、中小・地場組合の支援をするとともに、これまでの賃上げの流れを労働組合のない労働者に広げていくためにも、「誰もが希望を持てる社会を実現!安心・安全に働ける環境整備と『底上げ』『底支え』『格差是正』で」を合言葉に、連合埼玉、構成組織、地域協議会、各労働組合から職場に至るまで総がかりで行動し、最後の最後まで粘り強く闘い抜く。

以上

誰もが希望を持てる社会を実現！

～2021春季生活闘争パワーアップセミナーを開催～

1月31日（日）と2月6日（土）に2021春季生活闘争パワーアップセミナーを開催しました。今年のセミナーは緊急事態宣言下での開催となり、外部の会議やセミナーに参加できない組合からも参加できるようにWEBを併用した開催としました。参加人数は31日が会場に18名、WEBに11名が参加し、6日は会場に11名、WEBに12名、全体で52名に参加いただきました。

挨拶する竹内委員長

セミナー開催にあたり、竹内委員長からは、「新型ウイルス感染症の影響により、各企業の業績はバラバラで例年に増して難しい春闘となる。そのような中でもこれまでの賃上げの流れを継続し、働きの価値に見合った賃金水準にむけ取り組む必要がある。そのためには、企業の業績をより正確にとらえなければならない。このセミナーが今次闘争のたすけになればと考えている」との挨拶がありました。

講師：金森俊亮　公認会計士

その後、柿沼副事務局長から連合白書や経団連の経労委報告をもとに、取り巻く環境や賃上げに取り組む必要性、経営者の考え方などが説明されました。加えて、春闘交渉にむけた心構えや注意点などが経験談も含めて講義されました。

講師：柿沼副事務局長

午後の部では、金森公認会計士から監査経験をもととした財務諸表の基本と安全性や効率性などの財務分析について講義があり、また、他社との比較に役立つ指標の紹介や演習として個人ワークでの分析とグループワークでの分析の共有・意見交換がされました。

今回のセミナーについては、会場参加者を主体とした開催となったため、WEB参加の方はグループワークの時間も個人ワークをつづけていただくこととなりました。そのような講義ではありましたが、参加者からは、「大変参考になった」「公認会計士による講義は大変わかりやすく、ポイントとすべき項目や指標を学ぶことができ、自社の分析に役立つ」などの感想をいただきました。

2021春季生活闘争は、難しい環境の中ではありますが、誰もが安心・安全に働くことのできる環境整備と分配構造の転換につながり得る賃上げにむけ、構成組織・加盟組合と一致団結して取り組んで行きます。

セミナー会場 1月31日（埼玉会館）

セミナー会場 2月6日（あけぼのビル）

WEB参加

中小企業で働く人の賃金格差是正をめざす

【2021春季生活闘争・地域ミニマム運動】

中小企業労働者の賃金格差を是正するため連合埼玉では、「〇〇円以下の賃金をなくす」ことをめざして「地域ミニマム運動」を推進しています。20歳～45歳（5歳毎）に基準を示し、個人の位置付けの確認や各労働組合の指針となるよう、また世論喚起含め、誰からも水準が理解される金額を設定し、35歳をポイントとしてミニマム賃金を設定しています。

2020年の県内で働く4,455名の個別賃金調査を実施し、以下の前提条件や個別賃金調査データに基づきミニマム賃金を設定しました。

連合埼玉ミニマム賃金　35歳 228,000円

【前提条件】

①賃金実態調査結果の製造業・男女の「第１十分位回帰値」を基本目安とし設定する。
②埼玉県の生活保護水準（1級地－2…所沢市、蕨市、戸田市、朝霞市、和光市、新座市）を下回らないことを考慮する。

【2020年個別賃金および2021ミニマム賃金設定額】

年齢	平均賃金	第9十分位	中位	第1十分位	19ミニマム	第1十分位差	20ミニマム
20歳	176,716	183,315	176,760	167,084	169,000	1,916	169,000
25歳	213,046	244,000	208,900	188,400	189,000	600	189,000
30歳	246,691	282,520	248,260	203,270	210,000	6,730	210,000
35歳	268,355	326,930	261,600	218,526	228,000	9,474	228,000
40歳	288,939	355,884	284,604	227,773	240,000	12,227	240,000
45歳	303,523	373,300	299,368	237,455	261,500	24,045	261,500
1歳間差	5,072	7,599	4,904	2,815	3,700	－	3,700

前提条件の考え方から、各年齢ポイントとも昨年と同額を設定する。

【今後の取り組み】

春闘3次行動として連合埼玉・地域協議会にて、経営団体、商工会議所および商工会などへミニマム賃金の要請をおこないます。

1. 経営団体への要請

日　時：3月15日（月）～26日（金）
要請先：埼玉県経営者協会
　　埼玉県中小企業団体中央会
　　埼玉県商工会議所連合会
　　埼玉県商工会連合会
　　中小企業家同友会
要請者：連合埼玉

2. 地域商工会議所および商工会への要請

日　時：3月15日（月）～26日（金）
要請先：各地域商工会議所
　　各地域商工会
要請者：地域協議会

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

2021年度の地域活動について意思統一をおこなう

～　2021年度第1回地協議長・事務局長会議を開催　～

1月25日（月）ZOOMによるWEB参加とあけぼのビル501会議室への参加を併用し、12地域協議会より19名が参加して、2021年度「第1回地協議長・事務局長会議」を開催しました。

冒頭、近藤会長より「先日の川越市長選挙ではコロナ禍とあって低投票率であったものの、川合氏が当選を果たすことができた。また、戸田市議選では連合埼玉として小金沢候補の推薦を確認してる。本年予定されている衆議院選挙については、現在10名の候補者予定者を推薦確認した。今後も地協のみなさんのご意見を聞きながら支援をしていくので、みなさんとの情報交換が重要となるので、これまで以上に連携を密に取り組んでいきたい」と挨拶がありました。

議事では年間の主要活動をはじめ、地協交付金、2021春闘の各種行動、2021年度政策・制度「市町村要請」依頼、地域協議会役員交代手続き、列島クリーンキャンペーンの扱い、「ネット21運動」の説明会、大規模災害時の緊急連絡先報告など、当面の組織運営課題の確認をしました。

挨拶をする近藤会長

会議の様子

【2021年度第1回地協議長・事務局長会議議事】

1. 2021年度「年間主要活動」計画
2. 2021年度「地協活動交付金」について
3. 2021春季生活闘争方針と具体的行動について
4. 2020年度政策・制度「市町村要請」と要請書のひな型の送付について
5. その他
6. 地域事務所関係
7. 意見交換

連合埼玉の街宣車が新しくなりました。

連合埼玉結成30年を期に、街宣車が新しくなりました。新街宣車は、日産のキャラバンをベースに放送設備や屋根上のステージを設置しています。

外装には、両サイドに昨年作成された埼玉版ユニオニオンを配置し、労働相談ダイヤルの広告も掲載しました。

今後、2021春季生活闘争の駅頭行動や街宣など埼玉県内で世論喚起のため走行しますので、ご注目ください。

新街宣車をよろしくお願いいたします。

新街宣車

右側（運転席側）

左側（助手席側）

後ろ側

WEB開催で過去最高の参加者を集める

組合役員教育プログラム実務講座

1月16日(土)から2月3日(水)まで、全6講座の2021年度組合役員教育プログラム実務講座を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、基礎講座のみの開催となったことから、本年度は実務講座からスタートしました。また、今もなお集合型教育の実施が困難な状況にあることから、WEB開催(ZOOM)という従来にはなかった開催形式となりました。

人材(財)育成は、学習によるものと人の交流によるものという、二つの観点をもって進めることが重要です。事実、これまでの組合役員教育プログラムは、こうした視点を大切にして集合形式による講義と、グループワークで他の参加者との交流をおこなってきました。しかし、コロナ禍により、人と触れ合うことは大きな制約を受けることとなりました。WEB開催は気軽に他の参加者とコミュニケーションをとるには大きなハンデとなりますが、ZOOMのブレイクアウトルーム(グループ討議)機能を使用して、横のつながりが取れるように実施しました。

各講義の冒頭に主催者代表挨拶として、土曜日は金谷副会長、水曜日は平尾事務局長から、その日の講義のポイントや、役員として期待することについて話がありました。

続いて毎回J.unionの講師より、効果的に教育効果を高める3つのポイントとして、「①楽しむ=リラックス&スマイル　②参加する=本音で考え、語る　③仲間をつくる=その後、どう?と言える関係をつくる」ことが重要であると説明を受け、互いにその実践を約束して各講義のテーマに入っていきました。

組合役員教育プログラムは、自組織にて役員教育をおこなうことが難しい中小労働組合に対する教育機会支援を目的として開催しています。また、より多くの組合役員が本プログラムを学ぶことでレベルアップをはかり、それぞれの労働組合における活動が活性化、ひいては県内の労働組合運動の充実・発展につなげることを目的としています。

今回の受講者のみなさんが各職場で学んだことを生かし、より働きやすい職場に近づけていただきたいと願っています。

＜実務講座スケジュール＞

開催日	講義内容
1/16(土)	三六協定実務(時間外労働と休日労働)
1/20(水)	団体交渉・労使協議の進め方
1/23(土)	労働組合が取るべき経営対策活動とは?
1/27(水)	メンタルヘルスと職場での取り組み方
1/30(土)	キャリア開発(より良い働き方を考える)
2/ 3(水)	ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)

平尾事務局長

運営の様子

講座の様子

今回の実務編は合計で110名に受講いただき、実務講座の延べ受講人数は、561名となりました。また、2014年のスタート以来、実務編としては最多参加人数となり、特に土曜日の講義では30名を超える参加もいただきました。

多くの方に参加いただいた要因として、昨年未実施だったことや、WEB開催によりアクセス課題が解消された点などが予想されますが、今回のアンケート内容を分析し、今後のセミナー運営に生かしていきたいと考えています。

5月から「基礎講座」、7月には「スキルアップ講座」を開催します。引き続き、多くの方の参加をお願いします。

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

2021年度連合埼玉年間研修計画

2月9日（火）開催の第3回執行委員会にて、今年度の研修計画が確認されました。下記の研修は、組合員・組合役員の知識・スキル向上を目的としており、組合役員教育プログラムをはじめとする、あらゆる活動に直結する内容を予定しています。ふるっての参加をお待ちしています。

日時		研修名
5月	15日（土）	組合役員教育プログラム基礎講座
	22日（土）	平和集会
	28日（金）	第1回メンタルヘルスセミナー（応用編）
6月	10日（木）	政策フォーラム
	17日（木）	オルガナイザー研修会（養成）
	23日（水）～25日（金）	平和行動in沖縄
	予定	災害ボランティア研修「新規隊員研修（初級編）」
	予定	女性委員会 女性のためのステップアップセミナー（初級編）

日時		研修名
7月	6日（火）	男女平等参画「トップセミナー」
	7日（水）	組合役員教育プログラムスキルアップ講座
	8日（木）	オルガナイザー研修会（実践）
8月	4日（水）～6日（金）	平和行動in広島
	8日（日）～10日（火）	平和行動in長崎
	予定	青年委員会「ユースラリー」
9月	10日（金）～12日（日）	平和行動in根室
	10日（金）	第1回メンタルヘルスセミナー（基礎編）
	予定	災害ボランティア救援隊「継続実施研修（中級編）」
	予定	女性委員会 女性のためのステップアップセミナー（中級編）

誰もが「自分らしく」輝ける、多様性のある男女平等参画社会を実現しよう！

～3.8国際女性デーとは～

今年の全国統一行動は、“誰もが「自分らしく」輝ける、多様性のある男女平等参画社会を実現しよう！”をテーマに取り組みます。

2019年12月に発表された国際的な男女間格差を示すジェンダーギャップ指数は153か国中121位と先進国で最下位となっています。3.8国際女性デーを機に改めて男女平等参画に向け、みんなでこの運動を進めていきましょう。

現在予定される3月の日程表です

3月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	月		
2日	火		
3日	水		①連合「全国最低賃金担当者会議」(9:45～・Zoom開催) ②連合「在籍型出向の新たな仕組みに関する説明会」(11:00～12:00・Zoom開催)
4日	木		埼玉労働局「最低賃金全員協議会」(14:00～・埼玉労働局)
5日	金		
6日	土		
7日	日		①千葉市長選挙告示日 ②入間市議会議員選挙告示日
8日	月		
9日	火		
10日	水	第4回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館)	
11日	木		埼玉地方労働審議会(10:00～・ブリランテ武蔵野)
12日	金		
13日	土	ネット21バーベキューファミリー交流会inサイボク(10:45～・サイボクハム)	
14日	日		入間市議会議員選挙投開票日
15日	月		
16日	火		
17日	水	官公労部門連絡会「第3回幹事会」(18:30～・県労評会館)	埼玉労働局「第2回労働審議会」(10:00～・ブリランテ武蔵野)
18日	木		
19日	金	ネット21「第6回運営委員会」(10:00～・あけぼのビル)	
20日	土		
21日	日		①千葉県知事選挙投開票日 ②千葉市長選挙投開票日 ③富士見市議会議員選挙告示日
22日	月		
23日	火		
24日	水		
25日	木		
26日	金		
27日	土	ネット21バーベキューファミリー交流会inサイボク(10:45～・サイボクハム)	
28日	日		富士見市議会議員選挙投開票日
29日	月		
30日	火		
31日	水		

E-mail:rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長　平尾 幹雄

＜緊急事態宣言下での2021春闘＞

緊急事態宣言が、2月8日から1カ月延長されました。新型ウイルス感染拡大を抑えるために、「3密」を避け、「不要・不急の外出」を自粛する中で、業種・業態においてはテレワークをおこないながら、これまでに経験したことのない2021春闘交渉をおこないます。

特に、新型ウイルスの影響により、「人との接触をさける」、「人の移動を制限する」ことから、「飲食」、「観光」、「旅客」などの業種・業態については、雇用不安を抱えながら、雇用維持を最優先にした交渉をおこないます。

一方で、社会機能を支え続けている医療・介護、インフラ事業や、食料品などの生活必需品の製造、小売り、物流などでは、感染の不安の中で懸命に働く仲間のために、「安心・安全な職場環境を確保」しながら、「自分たちの働きの価値に見合った水準の確保（賃上げ交渉、格差改善交渉等）」に向けた交渉をおこないます。

このような交渉状況をみると、新型ウイルス感染症対策の影響は「決して平等ではない状況」を感じます。

また、感染症対策の影響により、中小企業など企業規模の小さいところに影響を大きく受けている傾向があり、雇用形態では、有期・短時間・派遣等の働く仲間に雇用不安や収入減少の影響が大きくなっている傾向があります。

このように、業種・業態間、企業規模間、雇用形態間で感染症対策により、影響に偏りがある2021春闘になっています。

＜新型ウイルス感染以前の構造課題＞

この1年間、新型ウイルス感染症対策と向き合い「命と暮らしを守る」ために日々取り組みをおこなっている状況をみると、つい新型ウイルス感染以前からある課題を忘れがちです。

しかし、私たちの取り巻く課題は、感染以前に抱えている構造課題に加えて、新型ウイルス感染症の影響による課題が重なりあった状況にあります。感染以前の構造課題を振り返ると、「超少子・高齢化、労働人口減少」、「第4次産業革命」、「安心の社会保障と税制の実現」、「格差是正（企業規模間、雇用形態間、男女間、地域間）」、「取引の適正化」、「働き方の見直し」など、大きな構造課題を抱えています。

この課題に加えて、新型ウイルス感染症の影響により、「業種・業態間、企業規模間、雇用形態間の影響の偏在」や、3密回避による「非接触」、「分散」、「ネットワーク」、「デジタル化」社会への進化や、感染対策による生活支援、雇用支援、事業支援による財政支出による社会負担など、新たな課題を抱えているのが現状です。

＜持続可能な社会に向けた2021春闘＞

2021春闘は、これまでの構造課題に加え、新型ウイルス感染症の影響による課題を克服するために、将来世代に希望がつながる持続可能な社会を実現することにあります。

そのためには、これまでの構造課題を見据えながら、新型ウイルス感染症の影響による課題を克服するための労使交渉につなげる必要があります。

例えば、第4次産業革命(※)などは、職場・現場のデジタル化推進が必要不可欠であり、非接触の拡大に伴うデジタル化の推進が構造課題の解決の1つになります。また、働き方の見直しへの取り組みは、テレワークなどの分散対策の取り組みが構造課題の解決の1つになります。

一方、労働人口減少の構造課題については、特定の業種・業態への影響の偏在の中で、雇用維持を大前提とした産業を超えた政労使の取り組みにより、国の雇用支援や職業訓練・能力開発、在籍出向など社会全体の雇用のセーフティネット機能が構造課題の解決の1つになります。

私たちは、それぞれの構成組織・加盟組合が今次闘争をつうじて、「持続可能な社会・企業・組織の実現」に向けて、雇用維持を前提とした交渉、賃金引上げ・格差改善の交渉など、さまざまな労使交渉を重ねながら、持続可能な社会につながる2021春闘をおこないます。また、労使で解決できない部分は、政策・制度課題として要請行動に結びつけていく必要があります。

角川武蔵野ミュージアム　壁画「武蔵野皮とんび」

＜禍（わざわい）を転じて福となす＞

昨年（2020年）の秋、埼玉県所沢市に文化複合施設「ところざわサクラタウン」（JR東所沢駅から徒歩約10分）が完成しました。

その施設の中でも、新国立競技場の設計者である隈研吾氏が手掛けたミュージアムが注目されています。そのミュージアムで「コロナ時代のアマビエ」プロジェクトをおこなっています。「アマビエ」は、疫病退散にご利益があることから、アマビエの力を借りようと、厚生労働省の「感染拡大防止」の啓発アイコンにもなっています。

新型ウイルスそのものが退散してくれることを祈りながらも、この「禍（わざわい）」をつうじて、私たちは、さまざまな知恵と工夫で、「新たな日常」に向けて、取り組みをおこなっています。

「禍」中の2021春闘が今月（3月）中旬から、先行する大手組織から集約を迎えます。それぞれの集約結果が、中小・未組織へ広く波及し、社会全体の「福」となり、新しい春を迎えることを期待したい。

2021.2.15

※第4次産業革命「IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）、ビッグデータを用いた技術革新」

Universal Design UD Font 読みやすいユニバーサルデザイン文字